

天草市総合計画策定審議会委員委嘱状交付式及び  
第1回天草市総合計画策定審議会議事録

- 1 開催日時：平成22年7月9日（金） 午前10時開会
- 2 場 所：天草市役所 庁議室
- 3 出席者：  
委 員 上野委員、亀子委員、島田委員、鳥山委員、中川委員、中島委員、  
野上委員、浜委員、春木委員、平塚委員、福本委員、益田委員、万田委員  
（欠席 木下委員）  
天草市 古田副市長、金子企画部長、塩田企画課長、小川企画調整係長 他
- 4 提出資料：資料1 第1次天草市総合計画書  
資料2 前期計画の概要  
資料3 市政に関するアンケート集計結果（平成22年3月）  
資料4 人口推計資料  
資料5 平成21年度改訂 年次別財政計画（推計）  
資料6 ローカル・マニフェスト

5 内 容

【委嘱状交付式】

〔1〕委嘱状交付

副市長より、各委員へ委嘱状交付

〔2〕副市長あいさつ

合併して5年目を迎えるが、「日本の宝島 天草の創造」ということで、19年3月に基本計画を策定した。このたびは後期の基本計画を策定するが、今地方は、経済も非常に厳しく、少子高齢化という重い課題もある。また財政的にも非常に厳しい時期を迎えるなかで、これからの地方行政の計画は、いわゆる成長型の地域社会ということではなく、安定型、場合によっては縮小型の地域社会に、どのように舵取りを変更するかということが、これから非常に難しい問題になると思う。

市長もマニフェストの中で、実効性ある政策を重点に推進していくと宣言されているので、そのようなスタイルの計画に持っていきたいと思っている。委員の皆様方にもご協力をいただければと思う。

【総合計画策定審議会】

〔1〕開会及び委員紹介

開会后、委員それぞれ自己紹介を行った。

〔 2 〕 会長・副会長選出

会長に上野委員、副会長に中川委員を選出。

〔 3 〕 諮問

副市長から会長へ諮問書を提出。

〔 4 〕 議題

(事務局紹介)

事務局の紹介

(会長・副会長あいさつ)

上野会長・中川副会長よりあいさつ

(会議の公開等について)

「天草市付属機関の設置及び運営に係る指針」により、行政の透明性を高めることを目的に、原則として公開することに決定された。

また、審議会開催の周知および議事録の公開は、ホームページ上で行うこととされた。

**議題 1 策定について**

**議題 1 - 第 1 次天草市総合計画について**

事務局より、配布資料に基づいて第 1 次天草市総合計画について説明。

(会長)

近年先進自治体では、天草市がやっているように市長の任期にあわせた計画づくりというのが始まってきた。4 年というのも、社会が変わるタイミングとしては適切な、あまり長くなって見直しができる、いい期間かもしれない。

**議題 1 - 前期計画の評価及び市民アンケート結果について**

事務局より、配布資料に基づいて前期計画の概要、市民アンケート集計結果について説明。

(会長)

アンケートでは、「豊かな産業づくり」の部分が極めて不満足であり、危機感があるが、評価表だと達成度高そうに見える。成果目標の設定のしかたが適切でない可能性があり、現実として、認識に随分かかりが生じている可能性はある。

「豊かな産業づくり」ではさまざまな政策を打っているが、効果を出していないならそのことをあと 4 年やってもしかたないのかもしれない。その辺りのご意見をいただきながら、それを行政の組織の編成や、予算や、あるいは事業の組み立てに反映できるような計画に持っていきたいと思う。

(委員)

市長マニフェストの評価は、事務局側で行ったとのことだが、自分たちの感覚からすると若干ずれているところがあるのかなという気がしている。

(委員)

第1次総合計画書を読ませていただいた印象を申し上げれば、他の市などと比べて、あらゆることを網羅しているという感じがする。だから目標の達成は困難なものもあるのではないかと思う。

### 議題1 - 将来推計人口及び年次別財政計画について

事務局より、配布資料に基づいて人口推計資料、年次別財政計画について説明。

(会長)

2025年には、一番多い世代は85歳以上の女性になる。その時に、どのような暮らしをしていくのか。次の時代と言い続けてきたが、2025年というのはすぐそこに来ている。それから、2025年から30年にかけて、さまざまな社会インフラの大きな更新の時期を迎えるが、実は日本中で、こういうものを賄える金が工面できないと不安視されている。そうなれば今ある道路を維持することも非常に難しくなっていく。

生産年齢人口が減少すると歳入が伸びない。現在の500億を超える天草市の予算規模というのは、他の自治体では実はありえないぐらいの金を使っている。27年度までは、地方交付税はこれまでとそう変わらない規模でくるが、それでも100億近くは減っていき、それから5年間で急激に落ちる。市職員の給与削減だけでは全然追いつかない話であり、新しい方法を探す必要があるが、そこは皆様の智恵にかかっていると思う。

(委員)

人口の数値は、どのように推計したものか？

(事務局)

国勢調査の数値を使用して推計している。現在は、予測値よりも下回る見込みである。

(委員)

財政の資料を見ると、実質公債費比率が14%前後で変わりなく、経常収支も98~99%あたりで変わらないとある。これに対する評価はどうか？

(会長)

事務局には、経営状況を判断するための数値の読み方の解説資料を次回までをお願いしたい。経常収支比率が90台になれば、新しいことをする余力はない。この4年間に財政削減はできていない。それは積み残しとして、先送りになっている。そのあたり、皆様のご意見をうかがいつつ、じっくり進めたいと思う。

(委員)

高齢者が増加するという話だったが、基本計画の中で、福祉関係・高齢者の方の対策はどのあたりになるのか。

(事務局)

3番の「快適な生活環境づくり」のなかで、「人と人が支え合うまちづくり」や「保健・医療・福祉サービスの充実」といった項目になると考えている。

(会長)

つまり、高齢者は弱者であり、福祉をやらなければならない対象として決めているわけであるが、農業などは高齢者が支えているのが現状である。

(委員)

現実には、農業関係であれば65歳から70歳ぐらいが主力。65歳は高齢者という扱いで、すべての話を高齢者対策と言われてもピンと来ない。そういう人たちが主力になって今の天草の農業や漁業を支えているという一面があるというのを考えたうえで話をしないと、おかしな話になると思う。

(委員)

今、漁業者の平均年齢は67歳。その人たちが船に乗って漁に行くという現状である。

(会長)

実際、60歳ぐらいから病気になって、何もできなくなってしまう人たちも出てくる。そのあたりは、産業構造とかみなさん方の人生設計、住む地域でだいぶ違ってくるが、天草市では高齢者への期待というのも当然高くなると思う。「次の世代」も重要。その産業を今後支えてくれる人がいるかどうかである。

(委員)

今農業に、新規就農者を見つけようとしても、なかなかいない。今考えているのが、65歳以上の人に、いかにして、少しでも長くやってもらえるようなことをやれるのか。新規就農者は一年間に数人の話なので、われわれが今考えているのは、60~65歳ぐらいの人をいかに取り込んでいくかということ。

(会長)

その辺りはきめ細かく、産業分野で話をしようと思う。2025年とか30年はあつという間に来てしまい、そのころにはその方々はもうリタイアしている。

(事務局)

基本構想・基本計画は、市だけがやるという構想や計画ではなく、市民の方もいっしょになってやっていただくというのが本来の考え方。例えば福祉施策の見かたとして、集落機能の低下していく地域への対策を、コミュニティ対策でお年寄りを含めてやっていきたいと思いますというようなことを考えているので、高齢者対策に対して福祉分野だけで捉えていくと、非常に見にくい部分があるかと思う。

(副会長)

コミュニティの活動の推進については今おっしゃったような、お年寄りが元気になり、収入・副収入を少しでも増やせるような活動というのが計画の中に見えてこないの、市民との意識のずれが、アンケートの中にも出てくるのではないかと。

## 議題1 - ローカル・マニフェストについて

事務局より、配布資料に基づいてローカル・マニフェストについて説明。

(委員)

ローカル・マニフェストの31「住民自治基本条例(まちづくり基本条例)」の件について、自分はNPOをやっているのですという立場でもあるが、行政・住民・業者を含めて、どうやって協力してまちづくりをしていくのかというのは、ずっとテーマになり続けると思う。そういう意味で、この総合計画のあとにまちづくり基本条例が残るような形ができないかと思う。

(会長)

私たちがここで決められるとすれば、こういう市民の参画・協働を進めていく施策の中に、まだ「まちづくり基本条例」がないのであれば、これを作るということの基本計画の中に入れ込むことはできる。企画課が担当だと思うので、それが決まれば、また別途審議会を立ち上げると思う。

## 議題1 - 後期基本計画策定の方向性について

(会長)

4年前にこの計画を作ったとき、合併直後でもあったので多少期待値が高く、「あれもやりたいこれもやりたい、むこうも下げなくて逆に増やすぞ」という、勢いのいい議論があった。当然、それは無理だろうという話も随分やったが、計画だから景気のいい話でということで、実は書いてある。今回4年やってみて、やはり厳しいというのが分かってきたので、今回はあまり現実性のない計画を立てても仕方ないので、少し厳しいご指摘をいただければと思う。皆様が厳しく言えば言うほど、各課が真剣に政策を考えてくれる。企画課はそういうご意見を持って、市民の意見だということで担当の事業課に相談にいき、作成させるという作業になっていくので、よろしく願いたい。

(事務局)

会長がおっしゃったように、企画課としても部の調整課にもう一度、委員の皆様の意見を踏まえたところで後期計画の実効性などを研究させて、再度この場に出すというような形で、全庁的に取り組みたいと考えている。

## 議題2 策定スケジュールについて

事務局より、配布資料に基づいて今後の策定スケジュールについて説明。

(会長)

あと正味3回の審議会の中に、パブリック・コメントにも出さなければならない。8月・9月くらいで、先ほどのすべての項目、目標も含めて見直すということで進めないといけないことになる。委員の皆さんは、疑問に思うところは事務局と頻りに連絡を取っていただきたいと思う。

(委員)

委員の役割についてだが、基本的に、市長のローカル・マニフェストをベースにして、これに対する意見で話をするのか、それとも、全く関係なしに、「新たにこういう風なことを」という話をするのか。

(事務局)

それはどちらの意見でもおっしゃっていただければと思う。会長がおっしゃったように、この場で急に出ても他の方がよくわからないということもあるかと思うので、自分としてこんな風に考えているけども、まとまりがつかなくて発言ができなかったという分も含めて、私たち事務局の方に意見を聞かせていただければ、また関係部署と話を詰めて、次回には皆様方にその報告を加えながらやっていければと思う。

(委員)

例えばほかの課の資料を見たいというときには、企画課に申し出て、そちらから照会していただくという手順になるのか？また、こちらで資料を配布したい場合には、事前に企画課にお持ちして内容を検討していただいたり、委員分のコピーをお願いしたりということもできるか？

(事務局)

構わない。事前にでも連絡を取り合っていないと、短期ではなかなか詰めきれないと考える。

(会長)

最終的にみなさん方に議論いただいたものは、計画書の 51 ページ以降の部分になる。主要施策はそんなに変わらないかも知れないが、施策の内容ぐらいは、新しい気づきがあれば大きく変えないといけないかもしれない。また、成果目標の指標のとり方も含めてまたご指摘いただくと、それに合わせた事業の展開というものを事業課は考えるので、できるだけ数値で表される見方を、みなさま方の視点からご意見をいただきたい。

(委員)

自分は商業、地域経済等の数値をよく見るが、やはり天草市の総合計画では全体的なことしか見ていない。例えば、本渡と牛深では産業の中身が全然違うので、地域の部分でも資料が欲しい。

そして今日のこの天草の財政の状況から見ると、年次計画などこのままの数字でいくとはとても思えない。住民はどこかを我慢しなければならないというところが必ず出てくると思うが、地域をある程度説得するような材料が数字的に表せなければ、住民に説明できないと思うので、そのような資料も欲しい。

(会長)

事務局にはぜひ旧町単位などの人口、その他資料を提供いただきたいと思う。

(委員)

2回目で観光地づくりのところまでいきたいということだったが、計画書の 81 ページ

に載っている「観光入込客数」というのは宿泊者数だが、できれば日帰りの観光客の人の推移についても資料をいただきたい。

(委員)

自分は福祉分野だが、天草市が策定した地域福祉計画との整合性を十分に考慮して、総合計画の中に盛り込んでいただきたい。

(会長)

総合計画に基づいて個別の福祉その他の計画が作られているが、相互に関連しているので、そこは整合性をとりながら策定していかないといけないと思う。

(事務局)

今回は市長が出席できなかったもので、次回の審議会には出席し、市長としての考えを一度お話ししたいという希望だったので、第2回の審議会に出席するという形です承していただきたい。

(会長)

行政の長なので、お話をうかがえるものなら思いをぜひうかがいたい。非常にせわしい進行になってしまったが、次回からたくさんご意見を賜りたいと思うので、よろしくお願いしたい。

次回の審議会を、8月11日午後1時30分から開催することで決定し、閉会。